

The Word Today

No.1016 主の晩餐

ダグラス・シュレーダー牧師

誰でもおいしい食事は好きです。空腹で、お腹がなるのはどんなことか、私たちは知っています。また、世界には十分な栄養を取れない人々や、飢餓で苦しんでいる人々があります。そのような人々に、援助がなされ救われるように祈りましょう。栄養不良だったり、食料や衣服を買うために十分なお金がなかったり、弾圧的な国家の中で苦しんだりしている人々のいる地域が世界にはありますが、そのような人々には援助が必要です。妻と私はそのような人たちを支援する働きに参加しています。彼らは、最小限の食物があるだけで、非常に感謝します。その一方で、食事の量が多くて食べ過ぎてしまい、あふれるほど豊かに祝福されていると気づく人たちもいます。

今日は、3種類の食事についてお話しします。過越しの食事、最後の晩餐と呼ばれる特別な出来事、そして、黙示録に記されている天の祝宴です。

まず、過越しの食事から始めましょう。過越しは、古代のユダヤ人を古代のエジプト人から神が解放したことを記念する食事でした。「古代の」という形容を付けたのは、今は、イエス・キリストにあって、ユダヤ人と、エジプト人や北アメリカ人やヨーロッパ人などの異邦人との間の敵意は、あるべきではないからです。イエスの教会には、和と一致があるはずですが、けれども、古代の歴史の、パロの時代には、古代のユダヤ人は抑圧されていました。主は彼らの苦しみとエジプトでの奴隷状態をご覧になり、彼らを解放しようとされました。神はいつも、苦しんでいる人々、貧しい人々、やもめや孤児、奴隷にされたり抑圧されたりしている人々に対して、憐れみを示されます。それで、神は、神の代弁者であるモーセとアロンを通して、エジプトに災いをもたらされました。その頂点に達した最後の災いが、エジプトを巡った死の使いで、すべてのエジプト人の初子と家畜の初子が打たれました。

これは、これは恐るべき裁きでした。ユダヤの民を自由にせず、荒野で神を礼拝させなかったパロとエジプト人に対する裁きでした。過越しの夜の食事は、急いで食べなければなりません。ユダヤ人は、上着を着て、すぐに旅に出る準備をしていなければならなかったもので、立って、靴を履いたままで食べました。エジプト人たちが、自分の子どもが死んだので恐れて泣き叫び、ユダヤ人に出て行けと言ったら、すぐに出ることができるように、備えていたのです。

シナイ山で、神はモーセを通して語られ、十戒を与え、多くの他の律法を与

えられました。様々な律法の中には、宗教儀式や祝いや礼拝に関するものがありました。その中に、ユダヤ人は毎年過越しを記念しなければならないという命令がありました。過越しは、毎年継続して守られるべきものでした。ユダヤ人であるイエスと弟子たちも、過越しの食事を祝ったことから、これがどれほど大切なことかがわかります。イエスも弟子たちも、ユダヤの歴史や、過越しの食事の大切な意味や、神がエジプトから神の民をどのようにして解放されたかを、よく知っていました。

イエスと弟子たちは、イエスが十字架につけられる時が近づいたとき、過越しを祝いました。その時の食事は、その前にも後にもない、非常に特別な食事でした。その過越しの食事は、最後の晩餐と呼ばれます。どうして最後なのかと言うと、ルカの福音書 22 章などに記されていますが、イエスが十字架の前に弟子たちと食べた最後の食事だったからです。イエスは死者の中からよみがえられた後に、弟子たちと食事をしました。もっとも有名なのが、ガリラヤ湖畔で、イエスが弟子たちを呼び、彼らと魚の食事を一緒に食べたことです。それも驚くような食事でした。それはそれとして、イエスが十字架につけられる前の最後の食事は、最後の晩餐と呼ばれています。これは、イエスが弟子たちと祝われた過越しの食事です。それが安息日の始まりである金曜日の夜ではなく、一日早く、木曜日に祝われた理由は、金曜日にイエスは十字架にかけられようとしていたからです。

このとき、イエスは、過越しの食事を主ご自身の食事にされました。これは、非常に重要なことです。食事の中で、イエスは幾つかの非常に意味深いことを言われました。ルカの福音書 22 章 17 節以下で、ぶどう酒の杯を取って、イエスは言われました。「これを取って、互いに分けて飲みなさい。あなたがたに言いますが、今から、神の国が来る時までには、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」それから、私たちが聖餐式のときにパンとぶどう酒を聖別するときを使う言葉を言われました。「これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行いなさい。」弟子たちとイエスは、子羊の食事を一緒に食べたことでしょう。その食事の後で、イエスは再びぶどう酒の杯を取り、言われました。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。」

このようなことは、それまでの過越しの食事ではなかったことでした。イエスは、神の御子としての権威により、過越しの食事を主の食事に変えようとしていました。それはもはやユダヤ人のエジプトからの解放を記念するだけでなく、イエスが私たちを私たちの敵であるサタンと罪と死から解放されることを記念するものになろうとしていました。

これは、主の晩餐あるいは聖餐と呼ばれ、クリスチャンは定期的にこの食事

をします。毎週することができれば、そうします。多くのクリスチャンは1週おきにしています。決まったスケジュールがあるわけではありませんが、いつの時代のクリスチャンも、イエスを覚えてしばしばこの食事をしたようです。聖餐にあずかることにより、私たちがイエスの十字架の恩恵にあずかっていることを再確認することは大事です。古代のユダヤ人たちは、毎年過越しを祝うことにより、本当の過越しの出来事を実際に体験した彼らの先祖たちと結び付けられると信じていました。

同じように、聖餐にあずかるとき、私たちは、イエスの十字架の死という犠牲は、私たちのためであったことを覚えます。このメッセージを聞いている皆さんが、イエスの死はイエスの弱さの印ではないことを理解することが大事です。「イエスの敵が優位に立った」とか、「人々に殺されたイエスは、弱く、神の御子としてふさわしくないことが証明された」などと考えるのは、間違った理解です。まったくそうではありません。イエスご自身が、自分から進んで命を捨てるのだと、はっきりと語っておられます。「自分の友のために命を捨てることほど大きな愛はない」とイエスは言われました。十字架の死は、イエスが選ばれたことです。私たちを罪から贖うために苦しんで死ぬことを、ご自分の意志で選ばれました。罪のすべての結果と私たちに対するサタンの支配を覆すために、神の御子としてのご自分の立場と権威を用いられたのです。

その結果、私たちは自由を得ています。ユダヤ人がエジプトから解放され、神に導かれる輝かしい新しい未来が与えられたように、イエス・キリストによって、私たちは、罪とサタンの支配と神の裁きから解放されたことを、クリスチャンは理解しています。これは素晴らしいことです！主の晩餐という食事を神が私たちに与えられたことを感謝する必要があります。主の晩餐は、キリストにあって私たちが自由にされたことを記念するものです。

あなたは、イエス・キリストにある信仰を持ったばかりかもしれませんが、あなたは世界のどの地域に住んでいるかわかりませんが、まだほかのクリスチャンの交わりに加わっておらず、礼拝をしていないかもしれません。この番組を聞いて、初めて信仰を持ったかもしれません。それは素晴らしいことです。御言葉を聞いたり、読んだりして、信仰にあって成長してください。けれども、できるだけ早く、教会に行くか、ほかのクリスチャンと集まるかして、主の晩餐にあずかるようにしてください。これはクリスチャンの信仰のために、とても大事なことです。主の晩餐にあずかることで、私たちは慰められ、神の赦しを再確信することができ、信仰が強められます。そして、私たちは、天において私たちが祝う、天の祝宴を待ち望ませます。イエスは、父の御国で新しく飲むまでは、ぶどうの実で造ったものを飲むことはないと言われました。その時を、イエスと共なる永遠の命にあって天の祝宴にあずかるときを、私たちは待

ち望んでいます。なんとという光栄でしょうか。あなたが主の晩餐にあずかるとき、いつもそのことを思ってください。